

東京通信大学 人間福祉学部

2024年度

公開講座

参加無料

人間福祉学から考える暮らし 2024

ほんとうにしている？ あなたの身近な人々の暮らし

開催日時

2024年11月9日(土)13:30～15:20

入退場自由

ライブ配信(zoomウェビナー)にて開催

興味のある方はどなたでも参加可能です。右記QRコードから申込みください。



ゲストスピーカー



『ハンセン病問題を考える』

国立ハンセン病資料館 社会啓発課
牛嶋 渉 学芸員



『ハンセン病療養所における妊娠・出産・養育
～奄美和光園での取り組みの検証～』

東京通信大学 人間福祉学部
小倉常明 准教授



『アディクション(依存) ～生きづらさの自己治療～』

東京通信大学 人間福祉学部
稗田里香 教授

東京通信大学WEBサイトからも申込みできます。



東京通信大学 公開講座2024



東京通信大学

[問合せ] 03-3344-2222(代)

人間福祉学は、“ウェルビーイング (well-being)” とは何かを多角的な視点でとらえ、多様な人々がくらしの中で抱える課題を社会全体として解決することを目的とする学際領域です。本公開講座では、ハンセン病を患った方とご家族、アディクションの回復に取り組む方のくらしを紹介します。彼らのくらしを認識し、私たちが自らの立場でできることを考えるきっかけになれば幸いです。

【登壇者】



国立ハンセン病資料館
社会啓発課
牛嶋 渉 学芸員

講義①13:35～『ハンセン病問題を考える』

ハンセン病問題は国による過ちと社会の偏見差別によりハンセン病を患った方とご家族が深刻な被害をうけた人権課題です。ハンセン病と日本人の関りの歴史、人権侵害や偏見差別の実例を紹介し、問題解決と同じ過ちを繰り返さないために私たちにできることを考えましょう。

【プロフィール】

2020年10月より、国立ハンセン病資料館に勤務。事業部社会啓発課に配属となり、ハンセン病問題の普及啓発を目的とした講演やイベントの企画運営、収蔵資料の管理などを主な業務としている。



東京通信大学
人間福祉学部
小倉常明 准教授

講義②14:25～

『ハンセン病療養所における妊娠・出産・養育～奄美和光園での取り組みの検証～』

ハンセン病患者は、らい予防法による「隔離収容」と、旧優生保護法による「強制不妊」という、耐え難い生活を強いられた。そうしたなか、奄美大島にある奄美和光園では、妊娠・出産ができ、産まれた子どもを養育することができた。十数回の訪問調査等から、奄美和光園を地域性、宗教性、規範性の3つの視点で検証していく。

【プロフィール】

社会福祉施設等の現場職員を経て、専門学校、短大、四大教員として勤務。東京通信大学設立準備室において文科省、厚労省への大学認可申請担当。人間福祉学部教員。日本ハンセン病学会等会員。



東京通信大学
人間福祉学部
稗田里香 教授

講義③14:50～『アディクション(依存)～生きづらさの自己治療～』

「自己責任」「意志が弱い」「自業自得」などとレッテルを貼られやすいアディクション(依存)が、実は、「生き延びるために必要な自己治療である」というとらえ方によって変わってきていることをご存じでしょうか。講義では、最近のアディクションのとらえ方や回復のための支援などについてわかりやすくお話しします。

【プロフィール】

医療ソーシャルワーク実践を経てソーシャルワーカー人材育成に携わっている。専門は、ソーシャルワーク、アディクション。博士(社会福祉学)、社会福祉士、精神保健福祉士、厚労省アルコール関連問題対策関係者会議委員、NPO法人ASK副代表ほか。

【開催概要】2024年11月9日(土)13:30～15:20(受付13:15～)

【参加費】 無料 【入退場】 自由 【実施方法】 ライブ配信 (zoomウェビナー)

※申込み完了後に受講のためのURL等が記載されたメールが自動送信されますので、確認の上、当日まで保存してください。

申込みはこちら

